



杉澤 正人
(無党派)



向山古墳群の文化的価値啓発への取り組み

国指定の公園を目指すとのことだが、文化財課の見解として、この向山古墳群の史的価値をどのようなものと把握しているか。

A 向山16号墳は、伊豆半島における最も古い前方後円墳と認識している。主体部の構造も堅穴式石郭であることから、初期ヤマト王権に認められた権力者が造営した古墳といえる。古墳群としても、16基の時間的経過が観察でき、全国的にもまれな史的価値を有する。



コロナ禍における学校現場での工夫は

コロナ禍という通常とは異なる制限の中、学校生活や教科指導の現場で、教員の工夫が良い効果をもたらした事例を伺う。

A 差別や誹謗中傷について学習した児童生徒が課題意識を持ち、動画を作成したり、シトラスリボンプロジェクトに参加したりした。体育では、少人数での基本の活動に時間をかけたことで、苦手意識を持っていた子どもが自信を持つきっかけとなった。



佐藤 寛文
(無党派)



退職した市職員の再雇用における課題

公務員の特権として希望を出せば必ず再雇用されているのが市の職員であるが、再雇用における働き方の課題や問題点を伺う。

A 無収入期間が発生しないように雇用と年金の接続を図る必要がある、国の方針に基づき、再雇用している。課題は、職員本人の職位逆転による混乱と戸惑い、モチベーション維持の困難性がある。また、若手職員が業務を頼み難いという状況もある。

市民の皆さんに信頼される市政運営を

令和元年度に策定された子どもの貧困対策推進計画の実現に向けて、令和3年度の取り組みを伺う。

A 令和2年度には、子どもの貧困問題に関するパンフレットを各自治会等において回覧していたが、子どもの貧困の周知を図った。令和3年度では、子どもの食への支援を目的とした子ども配食支援事業とも併せて、民生委員・児童委員の皆さまに対しても周知を広げる。



河野 月江
(日本共産党議員団)



感染拡大第4波に備えた検査施策の拡充を

高齢者・障がい者施設でクラスターの発生が多い全国の状況をふまえ、全ての新規入所者に対しPCR検査の費用を助成できないか。

A 新規入所者に対し、PCR検査を行うことは、施設内における安全性を確保するため必要なことと考える。65歳以上の三島市民で本人の希望があれば、社会的検査の対象者として行うことは可能であり、市内に住民登録が無い方等については情報収集し調査研究していく。



生活保護をためらいなく申請できるように

相談者が申請をためらうことのないよう、制度に関する広報や情報発信の内容・方法について、他市町も参考にして改善できないか。

A 生活保護に関するホームページでは、コロナ禍における制度変更等が確実に行き届くよう周知してきた。これからも他自治体のホームページも参考にする等、生活に困窮された方にさらに寄り添ったわかりやすい内容になるよう、ホームページの充実に努めていく。



野村 諒子
(緑水会)



新型コロナウイルスの影響による地方債の慎重な活用

緊急事態宣言以降、社会の活力が失われ市税収入にも影響が出ているが、減収を補填する地方債の扱いは慎重にできないか伺う。

A 減収補填債については、金利の低い公的資金の活用となるほか、元利償還金の75%は交付税措置されるなど、自治体の負担が軽減される措置がされている。取り扱いは必要な市民サービスを確保しつつ、状況を見極め真に行うべき事業を選択するなど慎重に行っている。

地域サロン等の会場の固定資産税減免の条件

高齢者の居場所や外出支援等を目的とする地域サロンが、個人所有の施設を利用する場合、固定資産税を減免にする条件とは何か。

A 個人所有の施設を利用した地域サロンが、固定資産税の減免措置を受けるための条件は、質料を問わずに無償で提供し、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与すること、また、減免対象となる固定資産が目的のために専用とされていることである。



表紙の写真について

令和2年度の1年間、三島の昔の風景をテーマに表紙に写真を掲載してまいりましたが、好評につき今年度も引き続き掲載していきたいと思っております。

今号の表紙の写真は、三島市役所です。市制20周年となる昭和35年に建築されました。向かって左側にそびえ立つ望楼は、現在は改築により撤去されましたが、当時は消防署の遠くを見渡すためのやぐらとして利用されていました。

また、表紙の掛は三島柄という三島茶碗や三島暦にルーツを持つ文様で、古典柄の流文と、新柄の梅花藻を組み合わせています。

議会だより編集委員会一同



ICT推進に向けて議員研修会を開催

1月15日(金)、北名古屋市議会議員の桂川将典氏を講師に、「議会のデジタル化の推進」をテーマに議員研修会を開催しました。

研修会はコロナ禍における開催のため、リモートで行いました。

三島市議会ではICT推進検討特別委員会を設置し、議会においてタブレット端末を導入するための検討を行っており、活発な質疑や意見交換が行われました。

